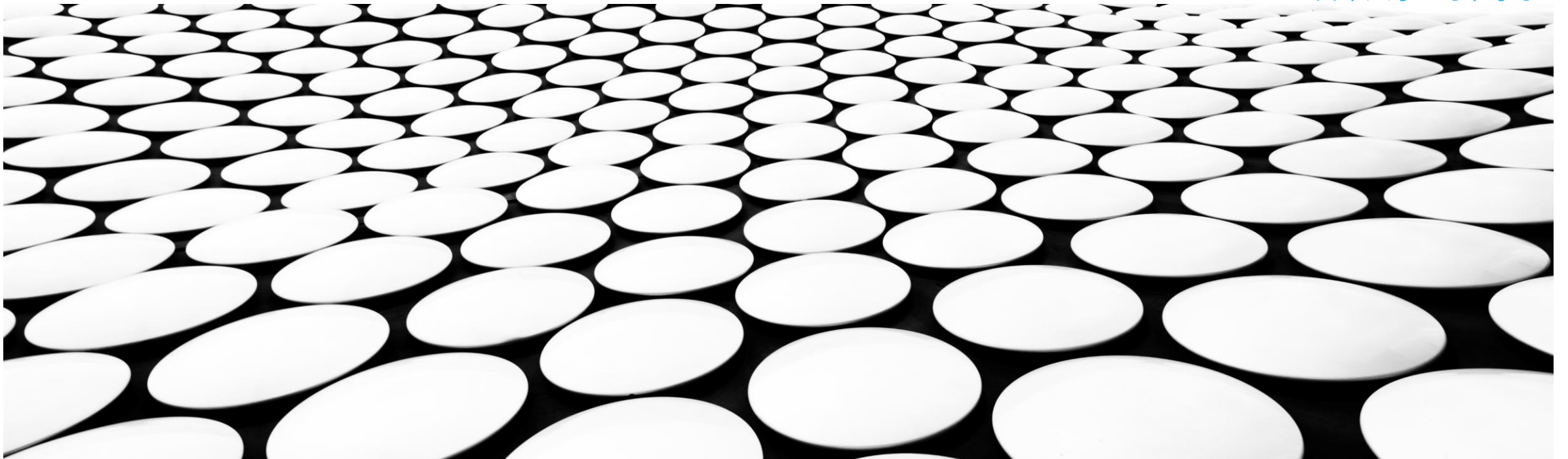


# 解題4\_「コラボ」について

健康経営、DH計画、安全衛生・・・福利厚生（試論）

2020.09.23 日本大学 河本淳孝



# 健康経営、データヘルス計画、労働安全衛生

各当事者の目的、根拠法、動機等には異同がある。コラボの壁となる懸念も

	健康経営	データヘルス計画	労働安全衛生
当事者	事業主 (経営企画、人事労務、IR)	保険者 (健康保険組合、共済組合等)	産業保健スタッフ等 (人事労務、産業医、保健師)
当事者目的	生産性向上、株価上昇、IR	生活習慣病等の予防 医療費の適正化	就労判定、作業環境改善等
当事者動機	健康経営銘柄、ホワイト500	健康保険法、国民健康保険法 (特定検診は高齢者医療確保法)	安衛法、労災法
所管	経済産業省、東京証券取引所	厚生労働省 (成長戦略としては官邸・経済産業省等)	厚生労働省
所管目的	産業育成、GDP高上げ	医療費の適正化 (成長戦略としては産業育成、GDP高上げ)	安全就労、健康保持増進

# 縦割りに横ぐしをさせるか

- 健保の特定健診（高齢者医療確保法）
- 産業保健の二次健診（労災法）

- 健康経営銘柄（IR予算）
- 健保のデータヘルス計画対応（保健事業、福利厚生費）

- 経営管理（労務管理）の生産性向上
- 被扶養者健診（要介護に伴う生産性低下対策）

# 「コラボ」が、「横ぐし」の役割を果たすために、

## ■ キーワード

- ① 経営のコミットメント（インセンティブが必要）
- ② データ・サイエンス。とくに、保険者間のヘルスデータのポータビリティ（生涯データ管理）